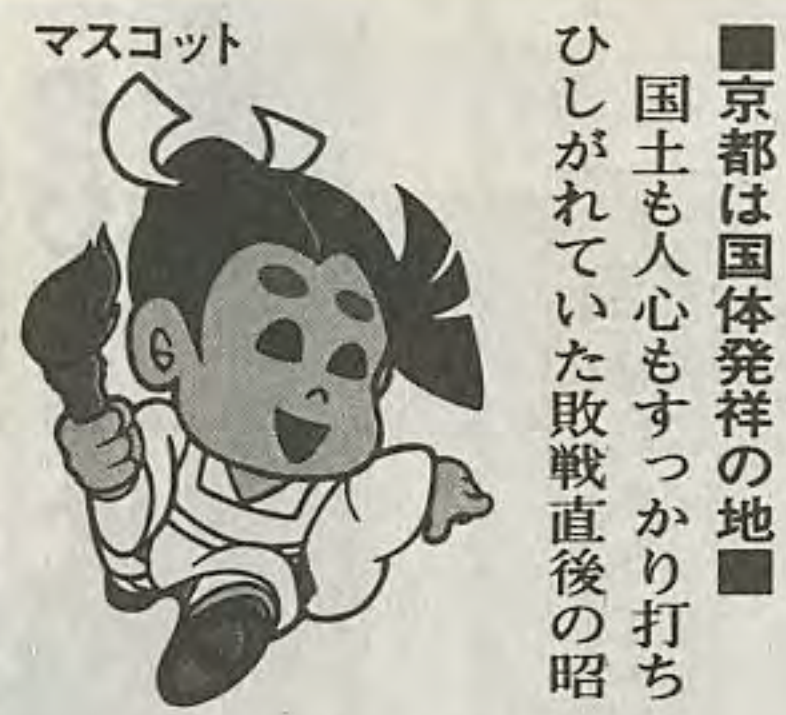


63国体が再び京都で

府民総参加で成功を……



■京都は国体発祥の地■
国土も人心もすっかり打ちひしがれていた敗戦直後の昭和二十一年、その失意と混迷を吹き飛ばし、日本人としての誇りと活力を回復しようと、全国のスポーツマンが一堂に会して第一回国民体育大会が、京都を中心で開催された。

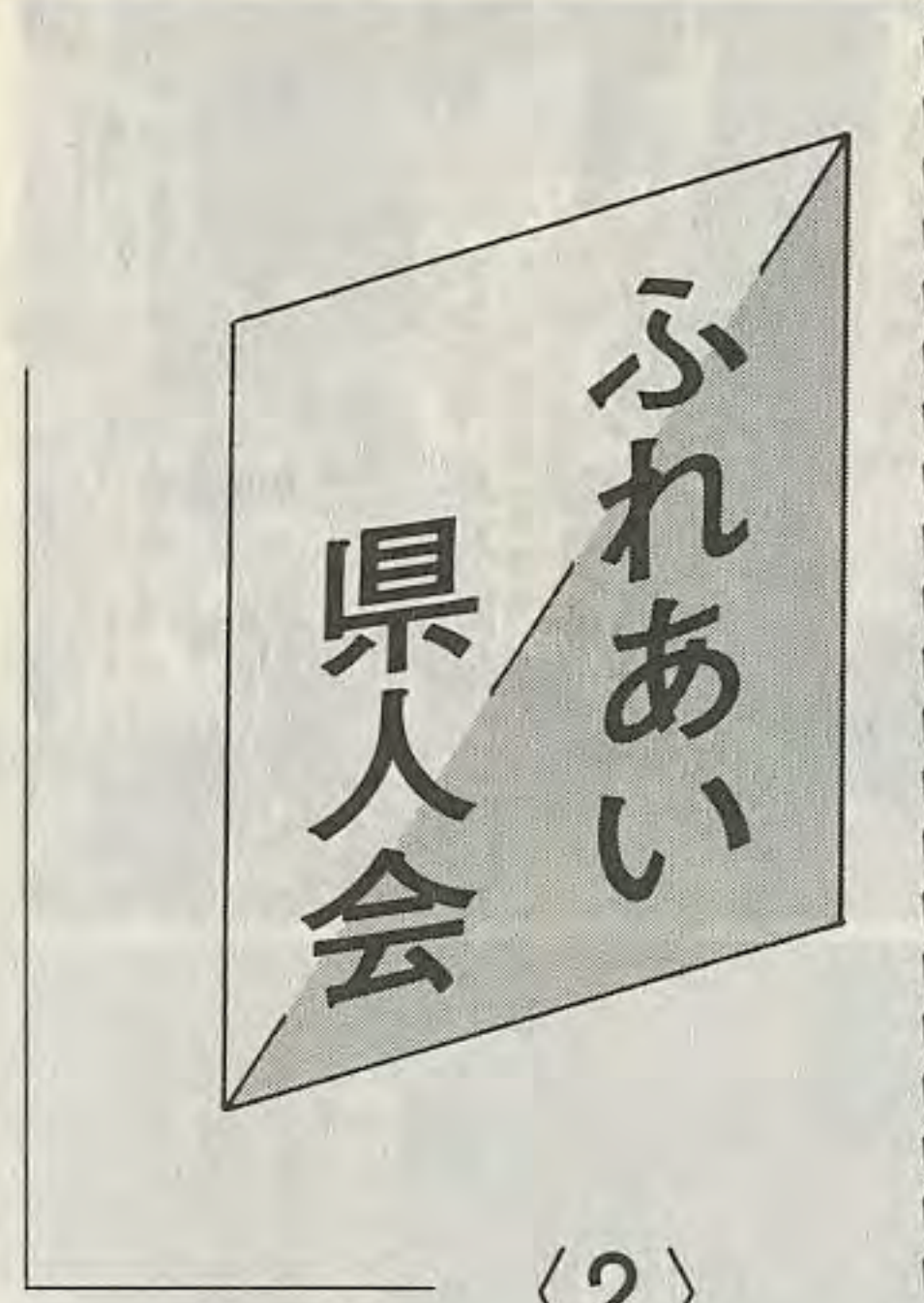
■「京都国体」の特長■
一、府民総参加を目指し、実施競技の会場施設を可能な限り多くの市町村に配置した



はばたく京都のスポーツ推進大会、でマスコット「未来くん」も活躍

二巡目のトップバッター「モデル国体」として大きな責務を持つとともに、「躍動する京都づくり」の起爆剤となることが期待されている。

結果、競技会場配置率は国体史上最高の86・4％(44市町二、京都国体からは、参加層村中38市町)



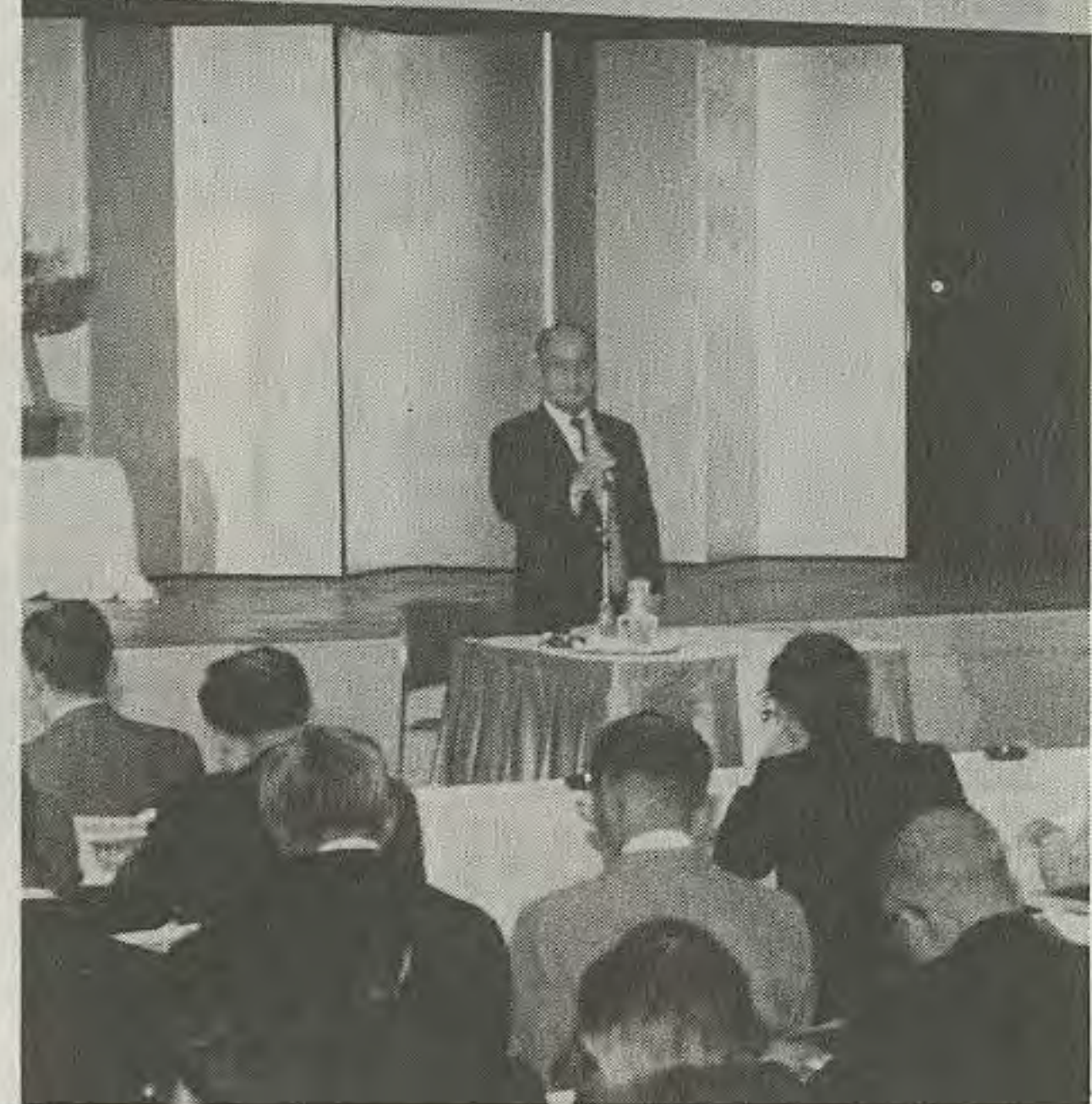
次取材対象にした香川県。さぬき市は京都新聞社内にも多数のメンバーがいて、以前からよく話を聞いていた。安藤滋邦会長をたずねると、親分ハダの人で「何でも相談してください」と大変な熱の入れようで太田さんのおつき合いが続いている。

異色の若手弁護士高橋正義氏などもとりあげた。黒井氏は本業のほかにも京都でただ一つのワイン「丹波ワイ」に力をいれておられるが、私も不思議な縁で試作が始まったところからこのワインのおつき合いが続いている。

し振りのご対面でもとてもなつかしかった。

和歌山県人会はこれも私の京都市政担当時代に助役で活躍されていた京信システムサービス会長の浜野練太郎氏が代表世話人で、気楽に取材の依頼をすることができた。浜野さんには久しぶり会ったが、骨がばいところは以前と変わっていない。年輪の分だけ若干まろくなれたかな、という印象だった。県人会の歴史などを刻明にメモしてもらって取材を助けてもらった。

さとの集い 連合会結成総会



懐しいご対面、

各界の名士、健在ナリ

思っている。

現会長の榊田博先生とは、北白川のバプテスト病院時代、患者として診察してもらったのが初対面で、市立病院時代は市政記者として、参院選に立候補された時は政経部デスクとしておつきあいが続いている。

素人顔見世では迷いぶりを発揮している安藤さんだが、けいこのときは人柄を反映して真剣そのものだ。

さぬき市ではかねて知り合いの黒井電機会長黒井基仁氏、女流義太夫を励ます会をつくって古典芸能の普及の面でも大活躍している。

現在南画家として、その方面ではよく知られている篠原泉氏はずっと以前から川端警察署勤務のお巡りさんだった。私は若手のサツまわり記者で、篠原さんの画いた疎水での遊泳禁止のアイデアを立て看板のこたなどを記事にしたものだ。久

また、この取材をとても喜んで、じっくり話をしてくださったヤマトマネキン社長小泉恒雄氏が、その後六十年一月にお亡くなりになったのはまことに残念だった。ご冥福をお祈りしたい。

写真は60年10月30日「京都ふるさと集い」連合会結成総会。中央が議長野練太郎氏(和歌山)

大会旗・炬火リレー(オリピックの聖火リレーのようなもの)は、従来大会当日のひとつのセレモニーとして行われていたが、「京都国体」では、日常のスポーツ活動に役立たせるために早期にコースを決定し、ジョギングコース等の「体力づくりゾーン」を設け、恒久的な「府民スポーツ振興の施設」として位置づけ。各市町村とも、府民だれもが気軽に利用できるようなコースを設計している。

また大会時の炬火は、京都・伊根町・南山城村でそれぞれ採火され、通過する市町村の火を次々に合火し、開会式前日に京都府庁に集火される。二百五十万府民の燃える情熱を集めたこの炬火は、西京極陸上競技場炬火台に点火され、京都国体の開会を告げる。

池田遥都筆「湖山草堂」

最精密複製画・限定10部(番号入り) 特別頒布

頒価 八〇,〇〇〇円

分割 八二,〇〇〇円

初回二〇,〇〇〇円、次回以降一〇,〇〇〇円(六回均等)

●お申し込みはハガキまたは電話で京都新聞文化センターへ。

京都新聞文化センター

京都市中京区烏丸通夷川上ル

電話 075(256)0007

おこしやす銀座『京のれん』

京都の老舗(40店)がそろっています。

上京された際は、お立ち寄りください。

営業時間は午前11時〜午後7時まで(日・祝は休)

京のれん

京都府物産協会

03(572)6484

銀座八丁目

京都新聞銀座ビル

東京都中央区銀座8-2-8

株式会社 京都センター東京事務所

電話(03)573-3035・0346

好評発売中

三井生命

大樹終身プラン
大樹らいふプラン

京都支社
〒600 京都市下京区烏丸通松原下ル五条烏丸町409
☎075(361)4331

京都南支社
〒601 京都市南区西九条蔵王町30-1
☎075(681)8161

おこしやす銀座『京のれん』

京都の老舗(40店)がそろっています。

上京された際は、お立ち寄りください。

営業時間は午前11時〜午後7時まで(日・祝は休)

京のれん

京都府物産協会

03(572)6484

銀座八丁目

京都新聞銀座ビル

東京都中央区銀座8-2-8

株式会社 京都センター東京事務所

電話(03)573-3035・0346